

新任保健主事研修講座が行われました



▲「保健主事の役割」について講義する戸田教授



▲実践発表「保健主事としての取組」の様子



▲研究協議・演習の様子

5月18日(木)新任保健主事研修講座が行われました。これは、学校保健活動や学校安全の管理について理解を深め、指導力の向上を図ることを目的にしたもので、小・中・高・特別支援学校の新任保健主事277名が出席しました。午前中は東京女子体育大学教授 戸田芳雄先生から「現代的な健康課題と保健主事の役割」の講義をいただきました。

保健主事は、保健活動のリーダーとして、保健活動に係るPDCAサイクルを確認し、次年度の保健活動の改善に繋げることが重要であることや、学校保健と学校全体を把握し、関係職員と連携させるマネジメント力が重要であることなどのお話がありました。

講義に引き続き行われた実践発表では、鹿嶋市立波野小学校 人見真由美先生、那珂市立瓜連中学校 梶山一久先生、県立緑岡高等学校 根本康成先生から各学校の特色ある取組を紹介いただき、保健主事としてどのような取組をしていくべきかを理解することができました。

午後の研究協議・演習では、「これからの保健主事としての取組」のテーマのもと、思考ツールを用いて、悩みを共有し、課題の解決策を話し合いました。「自分の役割をしっかりと認識できた」、「悩みや意見交換ができた」などの感想が寄せられました。